



絕對的運命確率論

絕對的運命確率論

KYOJURO RENGOKU

TANJIRO KAMADO

KIMETSUNOYAIBA

UNOFFICIAL FANBOOK





いたぞー!!!

こっちだ!!

急げ!!



その時のことは
よく覚えていない



身を焼く
ような熱

かれ

は



大丈夫だ

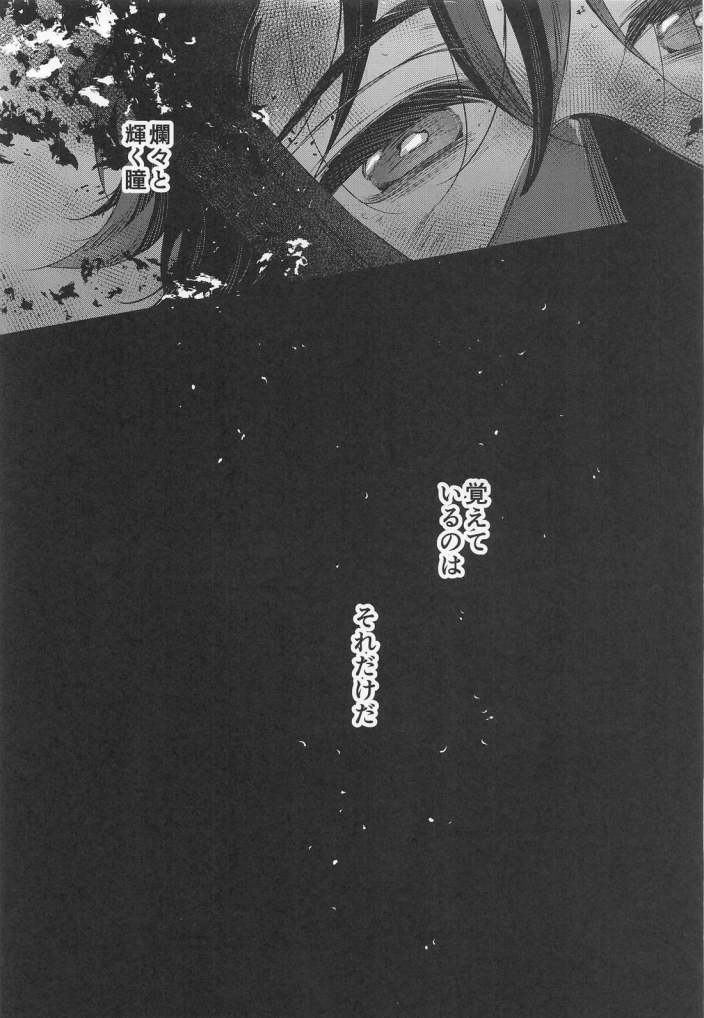
火傷は
しているが
命に別状は
ない

よく
頑張った！

そして



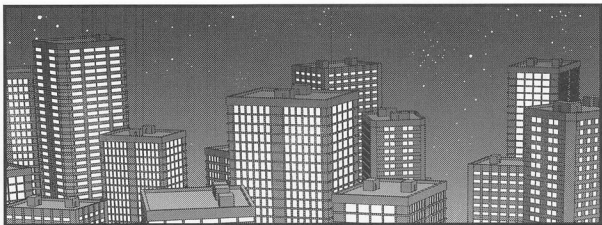
燃え盛る
炎のように



爛々と
輝く瞳

覚えて
いるのは

それだけだ



じゃあ
これは別の下請けを
探した方がいいな

企画自体の修正が
必要になるかも
しれない

胡蝶部長には
休み明けまで
待ってもらえるよう
話を通しておくから

マーケティングの
村田さんに連絡
入れてもらえるか？

寵門主任も
少し前に火事に
あってたよな

ああ
全身包帯
ぐるぐる巻きで
出勤してた時か

俺あん時
心から
思ってたわ！

やっぱり
最年少で主任に
なった人は
色々違うん
だなって！

分かる

アパート
全焼して
全治二週間
だったのに
三日で
出勤してた
もんなん

主任
仕事か恋人って
感じだからな！

最近特に凄くて
息を吸うように
休日出勤するし

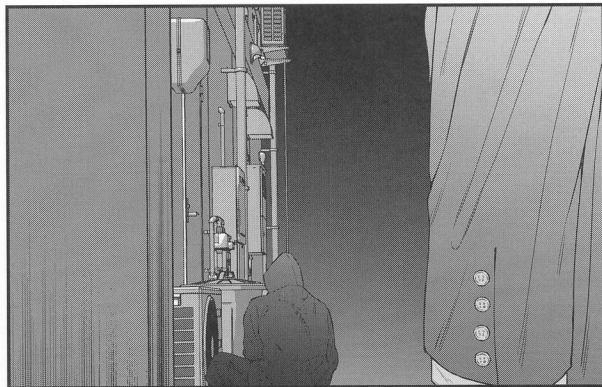
仕事持って
帰るし
何なら週三で
会社に入社に
泊まってるし

まさに
社畜



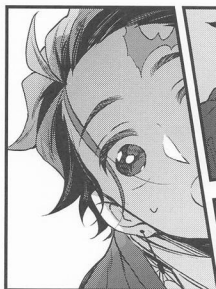
















君は
目が離せないな！



あの！
ありがとうございます！
ございます！

怪我は
ありませんか？！



大丈夫だ！

だが先日は逃げ
遅れた者を
助ける為に
炎の中に
飛び込んで

今日は
不審者
の追跡とは



つもしかして
火事の時の…!!



先日って…



でもよく
俺が分かり
ましたね？

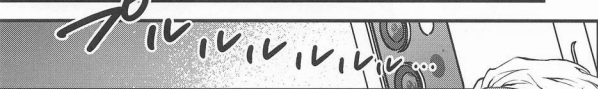
もしかして
助けた人全員
覚えて
いらつしやる
んですか？

む？



うむ！

わあああああ！
あの時は
ありがとうございます！
ございました！



なんて言っても
竜門だからな！

数時間前まで
考えもしなかった

まさか

こんな形で

突然恋人が
できるなんて

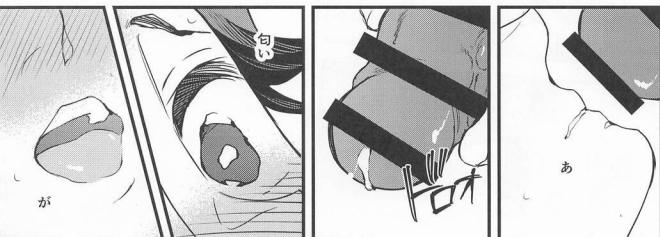
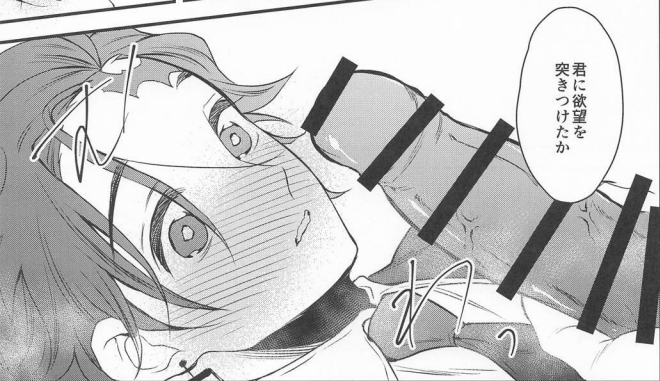


パ

君に教えて
あげなければ
いけないな

その相手がどんなに
危険な男だったか

サッ



竈門青年へ

おはよう！
体は大丈夫だろうか？

これから仕事でな
帰りは明日の朝に
なるので鍵はポスト
に入れておいてくれ
明日は帰宅後
直ぐに引越しが
バタバタしてい
すまない
また今度！



また今

…また
会おうとは
あるけれど

鍵はポストに
返して

明日には
引越して

連絡先も
書いてない

それは
つまり

そういうこと
だろうか

自分が

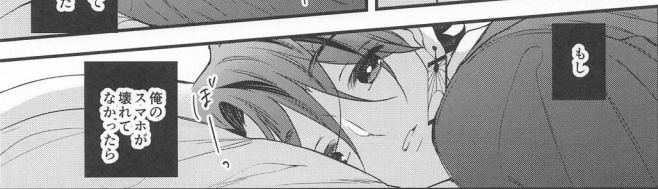
カチャッ

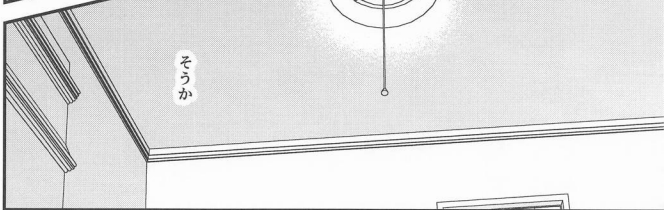
カゴン

一夜限りの恋人を
経験することになる
とは思わなかった

—初めから

一消
夜えで
縁だつ
たんだ
ろうか





とっくの
とうに

あの人を
好きになっ
ていたんだ



…嘘
は匂い

しなかつた
んだけどあ



…っ

何だろう
なあ…



れんごく
さん……っ

もう引越し
始まったかな

すーん

ザ・寝不足

藤求コ







彼はもう
退院して
しまった
ようです…





二階はつい先日
埋まって
しまったのですが

一階にお部屋が空いて
ございますよ

分かって
おりましたよ

人と人との出会いが
何十億に一度の
奇跡なのだとして

もし
その奇跡を

何があっても
掴んだまま離さず
いられたのなら



それを
人は



運命と

呼ぶのかも
しれませんねえ



ご覧頂きありがとうございました！
好きです！

タイトル：絶対的運命確率論
発行日：2024.9.22
著者（発行）：ちきろ（こけっこ）
Twitter：@chikironron57
mail：chikirok57gmail.com
印刷所：太陽出版（株）様



読んだよーとポチッと
押してやって頂けたら
嬉しいです

櫓下口

ZETTAITEKI UMEKAKURITSURON
KYOJUKO RENGOKU x TANJIRO KAMADO
KIMETSUNO YAIBA UNOFFICIAL FAN BOOK